

科目番号		52031	分類	助産診断技術学	履修者	高度実践助産コース			学年	
科目名	助産診断・技術学演習 (Practice of Midwifery skills)								1	
									配当セクター	
									前期	
担当者	○渡邊 香 他6名			区分	助産師免許取得プログラム	必修	単位	3	時間数	90
授業の概要および目標							学位授与の方針との関連			
【概 要】 妊娠・分娩・産褥期にある女性の身体的・心理的・社会的変化について学び、適切な助産診断とケアを行うための知識と技術を学ぶ。妊産褥婦のセルフケア能力の向上や出産準備を目的とした保健指導計画について理解し、ロールプレイを通して基本的な保健指導の技術を修得する。 【目 標】 1. 妊産褥婦の健康状態、正常な妊娠経過と正常からの逸脱について根拠をもって助産診断することができる。 2. 妊娠・分娩・産褥期の助産過程の展開に必要な技術（問診、計測診、胎児心拍数モニタリング、超音波検査など）を実践できる。 3. 科学的根拠に基づいた分娩介助法と助産ケアについて実践できる。 4. 健康教育案立案から評価までの過程を理解し、ロールプレイを通して保健指導の実践方法について実践できる。 5. 母乳哺育に関するケアの基本的知識を説明でき、乳房ケア技術が実践できる。							○	1.自律して自然分娩の支援ができる能力		
							○	2.院内・院外助産システムを担うことができる能力		
							○	3.女性の生涯にわたる健康を支援できる能力		
							○	4.周産期の救急時に対応できる能力		
							○	5.他職種と連携・協働し、質の高い助産ケアを提供できる能力		
								6.研究・開発能力		
							○	7.倫理的意思決定能力		
授 業 計 画										
回	内 容						担当教員			
第1回	助産診断とは						渡邊 他6名			
第2・3回	助産診断①（妊婦の助産過程）									
第4・5回	助産診断②（妊婦の助産過程）									
第6・7回	助産診断③（産婦の助産過程）									
第8・9回	助産診断④（産婦の助産過程）									
第10・11回	助産診断⑤（産婦の助産過程）									
第12・13回	助産診断⑤（褥婦・新生児の助産過程）									
第14・15回	助産診断⑥（褥婦・新生児の助産過程）									
第16・17回	妊婦・褥婦の保健指導技術									
第18・19・20回	妊娠期の保健指導技術									
第21・22回	母子の保健指導①（授乳指導・母児同室指導）									
第23・24・25回	母子の保健指導②（沐浴指導）									

第26・27回	母子の保健指導③（調乳指導）	浅井・勝山
第28・29回	母子の保健指導④（退院指導）	勝山・浅井
第30・31回	分娩時必要物品と器材展開、分娩時の身支度	浅井・戸津
第32・33回	分娩の一連と正常分娩介助法	戸津・勝山・浅井
第34・35回	分娩介助に伴う技術（人工破膜、臍帯巻絡時対応、急速遂娩時対応）	戸津・勝山・浅井
第36・37回	助産師のための超音波検査	馬場
第38・39・40・41回	分娩介助の実際（状況設定）	渡邊・朝澤・戸津・小嶋・浅井・勝山
第42・43・44・45回	分娩介助技術チェック	渡邊・朝澤・戸津・小嶋・浅井・勝山
事前・事後学習	事前学習：教科書の該当する箇所の予習を行うこと。 事後学習：講義と配布資料を基に復習する。	
評価の方法	演習への参加状況50%、分娩介助技術50%	
参考図書・資料等	◎助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ(2)分娩・産褥期 第7版 松崎政代他 医学書院 ◎助産学講座8 助産診断・技術学Ⅱ(3)新生児期・乳幼児期 第6版 石井邦子他 医学書院 ◎マタニティ診断ガイドブック 第6版 日本助産診断実践学会 医学書院 ・目で見える妊娠と出産 馬場一憲 文光堂 2013 参考図書は適宜紹介する。 ◎は授業の必携図書のため購入を必要とする。	
備考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。 フィードバックは適宜行う。 *講義内容の順については変更あり	